



この通信は、五郎沼の桜や周辺環境を守りながら、五郎沼の活用方法や今後のあり方を地域の皆さんと考えるために発行します。
(発行部数:200部)

発行者：「五郎沼の桜を守る会」
事務局 瀬川峰雄
紫波町南日詰字小路口70-1
電話：019-672-2656 (FAX兼用)
携帯：090-2270-6771
E-mail：shiwajokaso@crest.ocn.ne.jp

五郎沼にたくさんの人が訪れました。

……JR「駅からハイキング」の記録……

紫波町観光交流協会の歴史文化委員会(高橋敬明委員長)の応募にて、五郎沼周辺散策コース「『平泉』の黄金文化を支えた『比爪』の地を巡る」のタイトルでJR「駅からハイキング」に認証されました。

JR「駅からハイ」には、今までは単日の集合場所を決めて移動(佐比内、長岡、城山等)では行っていたのですが、今回初めて長期間の「いつでもコース」への挑戦でしたので、正直目標通りゆけるか心配でしたが、何とか達成したようでした。

参加者さんからの感想として◎素朴なコースで良かった、今度は冬の白鳥、春の桜の時期に：◎発掘した展示品も見たい◎産直、昼食できるところ等も欲しい◎冷たいお茶ありがとう◎小さなお土産欲しい等々：(紫波町観光交流協会の資料より抜粋)

地域別参加者		内容(多い順)
関東	32	神奈川13・東京9・千葉4・埼玉4・静岡1等
東北	17	宮城9・秋田3・青森3・山形1・福島1
岩手	67	紫波14・盛岡6・滝沢4・花巻4・奥州3等
計	116	

アンケート集計			
年代別		性別	
20代	2	男	27
30代	2	女	30
40代	8	※アンケート結果で「無回答」があり、合計は合いません。	
50代	15		
60代	21		
70代	23		
計	71		

下図の約4kmの散歩道でもあり、7月11日～20日までの10日間100名目標で地元、会員の方々のお手伝いにて臨みました。



箱清水石卒都婆群の松枯れの伐採

五郎沼の北側にある「箱清水石卒都婆群」の松が数年間「松くい虫」被害で大変危険な状態でしたが、地元の方の協力にてボランティア的に伐採していただきました。



松枯れ数年目で倒木の心配があった



高所作業車利用しての伐採



高所作業車の上から「都婆群」見た様子



高所作業車から見た五郎沼



また、発掘調査により、堀（柵列）跡が東西方向に二条検出されました。その規模は、幅60cm・深さ50cmです。この形状は柳之御所ですが発見されていない



これまで、比爪館遺跡や本遺跡の南側にある小路口Ⅰ・Ⅱ遺跡が調査され、比爪館跡や町並み跡が赤石小学校から東に約650mまで広がっていることが確認されています。大銀Ⅱ遺跡の発掘により、その範囲が北上川縁まで広がり、さらに北側にも広がることになりました。

南日詰大銀Ⅱ遺跡

（紫波・稗貫衛生処理組合処理場内）

このことから、この地には相当力があり、



発見された「かわらけ」比爪館跡のよりも古いと推測されている

同系の堀跡で、貴重な遺構である事がわかりました。さらに、大量の「かわらけ」（12世紀）、白磁、青磁、黄柏陶器（12～15世紀）など中国産陶磁器の破片や住居跡が数棟発掘されました。



発見された堀（柵列）跡
平泉の堀之御所では発見されていない
（比爪館跡では未発見）

平泉研究の中で、樋爪一族について注目されているなか、この遺跡の調査結果は貴重なものです。今後、赤石神社からこの遺跡付近まで、岩手県埋蔵文化財センターの調査が行われる予定です。全国に注目される発掘調査結果がさらに期待されます。（町教育委員会資料を基にひづめ館懇話会員の石幡氏の文）

北上川の舟運に係わる有力者が住んでいたことが想定されます。さらに、出土した「かわらけ」は、比爪館で出土したものより古く、樋爪氏初代清綱が住んでいた館跡ではないかと想像できます。